か"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ： http://www.asahi-net.or.jp/~uu9y-ktu/index.html
E-mail： meguro-ys@yahoogroups.jp
156-0051 世田谷区宮坂 3-23-2 東京 YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

２０１６年 １０月号 Ｎｏ．６０２ 最終号

会　長	村野　繁	ＥＭＣ	村野絢子
副会長	村野絢子	ブリテン	福島　正(編集)
書　記	福島　正	ブリテン	村野　繁(印刷)
会　計	根本幸子	担当主事	山梨雄一

クラブ会長	村野　繁(東京目黒)	50 周年を迎えて再出発
東新部部長	細川　剛(東京)	今チャレンジ、明日に向かって ワクワク東新部
東日本区理事	利根川恵子(川越)	明日に向かって、今日動こう
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao(台湾)	ワイズ運動を尊重しよう
国際会長	Joan Wilson(カナダ)	私たちの未来は、今日より始まる

東京目黒クラブ　解散の辞

2000 年に１名入会、2003 年にメネットからメンへ２名増加したものの、地域奉仕活動ができていなかった上、召天者、退会者による会員減少となり会員増強もままならず、東新部部長が輩出できず、東新部や他クラブに迷惑をかけるに至りました。

東京目黒クラブ 50 年を迎えた機会に、いろいろ策を講じ、検討を重ねてきましたが、熟慮の結果、９月例会を最後とし、10 月８日東新部部大会のホストを務めて、クラブを閉幕し解散することを決断しました。東新部が上昇気運にあるこの時期の解散に細川剛部長始め部役員各位には申し訳ありません。

東京目黒クラブは、最後まで元気な例会と、ブリテンの発行を続け、残念ではありますが、悔いはありません。DBC の姫路クラブと、那須クラブ、ＩＢＣのＰＵＬＩ（台湾）、ＩＮＣＨＯＮ（韓国）には良い思い出と交わりを頂き感謝しています。

東日本区、西日本区のワイズメン・メネットの皆様

東京目黒クラブは５０年の歴史で閉幕いたします。今までの温かい交わりとお支えに心から感謝致します。解散しますが、数名は他クラブへ移籍し、今後も活動を続けて参ります。ありがとうございました。

２０１６年　東京目黒クラブメンバー　（カッコ内は今後の予定）

村野繁
（東京世田谷クラブへ）

村野絢子
（東京西クラブへ）

根本幸子
（退会）

福島正
（休会）

山梨雄一　主事
（東京世田谷クラブへ）

９月　本例会　報告

９月 14 日(土) 13:30～15:00
ＹＭＣＡ南センター　２階会議室

村野繁さんと小・中・高校で一緒だったという西川喬也さんをお招きして、根本さんの司会、村野会長の開会点鐘、一同でワイズソング斉唱、司会者の聖書朗読、ひとこと、お祈り、会長からビジター、ゲストの紹介と進みティータイムに移った。

西川さんは英語によるガイドの資格を得て、都庁で外国人相手にボランティアガイドをされている。「都庁の窓から見る世界」と題して話を伺った。

出席者【メン】根本、福島、村野繁、村野絢子
【メネット】福島、
【ビジター】佐藤茂美(東京)、村田榮(那須)
【ゲスト】西川喬也、畠悦子、福島宣子
山梨主事はＹＭＣＡ行事でメーキャップ

９月例会記録　在籍会員数５名
本例会出席（メン）４名（メネット）１名
（ビジター）２名（ゲスト）３名、計 10 名
（メーキャップ）１名、　　出席率 100%

９月　第二(事務)例会　報告

９月 14 日（水）15:15～16:00
ＹＭＣＡ南センター　２階会議室
出席＝根本、福島、村野繁、村野絢子、福島多恵子

10/8(土)　第 20 回東新部大会（ＡＹＣ）

「今チャレンジ、子どもをマラリアから守ろう」をテーマに掲げ、細川部長の熱い思い入れと、進藤重光部事業主査の広い人脈で、外務省と、千代田区に後援をお願いした広報活動が実を結び、第２部の一般公開に、会場が満席になる 220 名来場。

先ず、第１部の式典には、17 クラブ、メン、メネット 83 名が登録して開会。

第２部の一般公開プログラムは、国立国際医療研究センター・マラリア研究部部長の狩野繁之氏が子どもたちにもわかる優しい語り口で「蚊はなぜコワーイのか！？」と題する講演、引き続き子どもたちに人気の谷本賢一郎氏の「ファミリーステージ」（コンサート）が行われ、ロールバックマラリアそしてワイズの PR を行うことができた。

↑狩野繁之氏の講演　　谷本賢一郎氏のコンサート

第１部では東日本大震災/熊本地震の復興支援への献金 37,435 円が、部大会の間、ロールバックマラリアに一般参加者を含め 117,370 円（蚊帳 147 張り相当）が捧げられた。

ホストした目黒は村野繁さんが部大会実行委員長を務めただけで、東京クラブが全部取り仕切って頂いた。村野、根本、福島、村野(絢)、福島(宣)が参加。

ＤＢＣの姫路クラブから阪田悦規会長が遠路出席され、大会終了後に目黒メンバーと共に夕食をご一緒し交流の時を持った。

阪田さん(姫路クラブ会長)と出席の目黒メンバー

☆にこにこメッセージ☆

根本幸子ワイズ
私の兄は戦前、ＹＭＣＡに入会しており、我が家に見えたお友達との付き合いを見聞きしておりました。戦争が激しくなり田舎に疎開し、終戦後２年経って東京に帰り元の学校へ戻りました。４年も離れていたせいか毎日辛い思いをしていた時に勧められてＹＭＣＡに入会しました。当時、神保町に住んでいましたので、学校が終わるとすぐ神田のＹＭＣＡで時間を過ごしていました。結婚・子育てしている頃、山中湖の家族キャンプに誘われました。主人の転勤で暫く東京を離れましたが、その間も毎年夏の家族キャンプには参加しました、その縁でワイズに誘いを受けて目黒クラブに入れて頂きました。転勤中も夏休みは必ず親子で家族キャンプに参加しましたし、孫の本間匠も喜んでいました。私の人生の大半を占めるＹＭＣＡ家族キャンプと、目黒ワイズは心の支えになっています。今、目黒クラブが 50 年の幕を閉じるに当たり、寂しく惜しい気がします。長い間本当にありがとうございました。お交わりを感謝し、厚く御礼申し上げます。

村野絢子ワイズ
1966 年にチャーターした東京目黒クラブの歴史は同年４月に結婚生活をスタートした私ども家族の歴史とぴったり重なります。◆最初の 10 年間は今井館で、碑文谷の福祉センター、そして目黒ブランチへと転居し、担当主事は常藤さんから一色・本間・羽鳥・本行さんと変わり、５人の子どもが生まれ成長した 10 年間でした。家族キャンプとフレンドシップキャンプに、繁はワシントン国際大会に参加しました。◆1976 年からの 10 年間の例会は借館の目黒ブランチで、伊藤・湯浅・飯さんが担当主事でした。家族キャンプ（山中湖、白洋舎寮、忍野）、長女は沖縄 YMCA のキャンプ、長男は野尻学荘に、私はストックホルム国際大会に参加。その後教師として再就職。◆1986 年から 10 年間、会場は変わらず主事は古市・頼・中村・岩田・小泉さんと交代しました。家族キャンプは山中湖から妙高高原に変わり、長男、長女、四女は東京フロストバレーにリーダー、オフィスアシスタント、メンバーとして参加し、繁はフロストバレーツアーを３回企画実行（二女、三女参加）。子どもたちが結婚独立。◆1996 年からの 10 年間は久保川・菅野・石川・井上・星住・仲村・飯さんと主事の交代が続き、会場は聖パウロ教会、南センターに移りました。目黒クラブ歩こう会（MHM）スタート、夫婦でＢＦ代表とし１ヶ月間カナダ訪問。◆2007 年からの 10 年間、高齢化とメンバー減少が加速し、会場変更、主事の交代も続きました。例会場は身体に負担が少ない１階の喫茶店・会議室を利用したり、試行錯誤して例会を昼間(午後１時半開始)と大きく変えました。ゲストがメンバー数を超える例会で盛況でした。家族キャンプにも参加した私の母と伯母を天に送り、CS 校長だった福尾昇一先生の勧めで入ったワイズ、名古屋での私達結婚式に列席くださり、教会生活とＹＭＣＡを共に歩んだ福尾ご夫妻を天にお送りして６年、切手の福尾はフィラテリスト福尾、切手の目黒となりました。福尾さんが古切手で作ったワイズのシンボルマークは世界各地に届いています。書ききれない豊かな 50 年を下さった目黒クラブに感謝します。ありがとうございました。

村野 繁ワイズ
私がワイズに関わった最初は山手クラブでした。学Ｙのころ都市Ｙは遊んでばかりではないかと見ていました。就職して名古屋勤務になり、批判していた都市 YMCA のメンバーになりました。社交クラブに参加してクラブ活動を楽しんでいましたが、テーブルセットして例会を持つワイズメンズクラブを見て、なんだこれはと思い、本社に転勤した東京オリンピックの年、今度は批判していたワイズメンズクラブに参加することにしました。同じ教会に福尾昇一さんがおられ山手クラブに誘われて入会しました。その山手がスポンサーになり目黒クラブ設立となり、福尾さんと共にチャターメンバーとして目黒クラブを立ち上げました。福尾さんは切手商を営まれ BF 切手を買い上げていました。フィラテリストです。彼はアジア地域のフィラテリストになりました。彼の逝去後、私がフィラテリストになり、集めた切手は昇一さんの息子に代替わりした(有)フクオに切手を買ってもらうことにしました。この関係から国際 BF 事業主任も務めました。その当時から資金集めだけでなくプログラムに参加しようと訴えていました、ISD を務めた後、BF フルグラントとして絢子と一緒にカナダ西部を４週間各地のクラブを訪ねました。いろいろな思い出が頭の中で渦巻いています。

山梨雄一ワイズ
東京目黒クラブは私にとって都立大駅近くにあった時代の頃より、バザーや、また、日々のリーダー活動の際にも大変、お世話になりました。皆さんとの関わりもあって今、こうして YMCA にてお仕事をさせて頂いているように思います。50 年の歴史ある目黒クラブでのお働き、お疲れ様でございました。
　これからの YMCA、そしてワイズメンズクラブ、とどのような将来像を描くか、など研修に来ている間に少し自分自身にも問答が出来れば思っております。

福島 正ワイズ
　熊本クラブを振り出しに、姫路、東京、東京山手、東京目黒に所属し、通算62年のワイズ人生でした。1955年の有馬（神戸）日本区大会から2012年の伊東東日本区大会まで、国際大会は、1974年ワシントンＤＣ（米国）から1998年ヘルシンキ（フインランド）まで参加でき、国内外の先輩、友人と広がった交友は私の宝物となりました。２年前からシルバーカーに頼る歩行のため、迷惑をかけては申し訳ないと、目黒例会以外は遠慮しました。10/8の東新部部大会は目黒クラブのホストで、これが最後と思い出席しました。東京クラブの全面的な協力は見事で言い尽くせない感謝でした。ありがとうございました。

福島多恵子メネット
　私は熊本にゆかりの齋藤惣一先生と、熊本ＹＭＣＡ初代主事で、ワイズソングの訳詞と、ＹＭＣＡの歌を作詞された淵田多穂理さんに育てて頂いたこと、今期国際会長のＪＯＡＮ（カナダ）を1978年、初来日の折我が家のホームステイに迎えたことも誇りです。日本区のメネット事業主任、東日本区メネット委員長の役を3回も頂き、多くの方々に大変お世話になり、私の生涯に忘れられない感謝の時となりました。

～・～・～　これからのこと　～・～・～

東京目黒クラブ閉幕を決断したものの、50 年掲げ続けた火種は大事にしたいと願っています。ワイズメンバーの中には高齢で夜間の例会出席を控えたり、また高齢者の居場所が欲しいなどの声もあり、それらの受け皿についても思いを馳せました。そこで、直接ワイズには繋がることは難しいかもしれませんが、希望や意欲をもっている方々と一緒に再出発を模索したいと考えています。

会の運営・内容、会場や時間、昼食の有無等を相談する機会を設けます。
興味のある方は連絡いただき、是非お集まりください。
連絡先 Meguro-ys@yahoogroups.jp　　村野繁 090-1547-4396

東京目黒ワイズメンズクラブ　1966 年～2015 年（50 年間の五役）

	会長	副会長	書記	会計	担当主事	会員数
1966 年	福尾昇一	高橋欣三	村野繁	野畑幸平	一色俊一	26 名
1967 年	村上邦彦	野畑幸平	村野繁	渡辺不二夫	本間立夫	20 名
1968 年	野畑幸平	渡辺不二夫	吉田明弘	加藤修磨	本間立夫	21 名
1969 年	渡辺不二夫	村野繁	藤波辰夫	加藤修磨	本間立夫	22 名
1970 年	渡辺不二夫	村野繁	齋藤嘉明	佐藤昭朗	羽鳥直之	22 名
1971 年	村野繁	吉田明弘	齋藤嘉明	佐藤昭朗	本行輝雄	21 名
1972 年	村野繁	吉田明弘	小山治夫	石川英治	本行輝雄	21 名
1973 年	吉田明弘	小山治夫	石川英治	村野繁	本行輝雄	20 名
1974 年	小山治夫	石川英治	佐藤昭朗	一瀬斉夫	本行輝雄	22 名
1975 年	石川英治	佐藤昭朗	石川重夫	船橋保治	本行輝雄	22 名
1976 年	佐藤昭朗	藤波辰夫	益戸明	藤掛南男也	伊藤信吾	19 名
1977 年	藤波辰夫	石川重夫	益戸明	藤掛南男也	伊藤信吾	19 名
1978 年	石川重夫	福島正	小山治夫	藤掛南男也	湯浅慶	19 名
1979 年	福島正	藤掛南男也	小山治夫	島崎真一	湯浅慶	18 名
1980 年	藤掛南男也	八木清時	小山治夫	島崎真一	湯浅慶	18 名
1981 年	藤掛南男也	八木清時	伊原武	小山治夫	飯忍	19 名
1982 年	小山治夫	八木清時	藤波辰夫	福島正	飯忍	19 名
1983 年	小山治夫	横山暢宏	藤波辰夫	福島正	飯忍	16 名
1984 年	横山暢宏	山口愛二	藤波辰夫	福島正	飯忍	16 名
1985 年	横山暢宏	山口愛二	藤波辰夫	福島正	清水正史	16 名
1986 年	山口愛二	林茂博	小山治夫	福島正	古市慎	18 名
1987 年	林茂博	福尾昇一	吉田一也	鈴木節	頼仰史	20 名
1988 年	佐藤昭朗	福尾昇一	小山治夫	鈴木節	中村基信	21 名
1989 年	横山暢宏	藤波辰夫	小山治夫	鈴木節	南田泰隆	22 名
1990 年	小山治夫	安藤洋子	石川英治	鈴木節	金子賢治	21 名
1991 年	小山治夫	安藤洋子	石川英治	鈴木節	岩田博美	18 名
1992 年	小山治夫	村野繁	石川英治	鈴木節	岩田博美	16 名
1993 年	福島正	村野繁	石川英治	鈴木節	岩田博美	18 名
1994 年	秋吉孝一	加藤祐一	小山治夫	鈴木節	小泉美壽	19 名
1995 年	加藤祐一	横山暢宏	秋吉孝一	鈴木節	小泉美壽	15 名
1996 年	羽鳥直之	筒井康	秋吉孝一	鈴木節	久保川守	13 名
1997 年	村野繁	横山暢宏	秋吉孝一	鈴木節	菅野牧夫	11 名
1998 年	村野繁	横山暢宏	秋吉孝一	鈴木節	菅野牧夫	12 名
1999 年	秋吉孝一	横山暢宏	秋吉孝一	鈴木節	菅野牧夫	11 名
2000 年	横山暢宏	秋吉孝一	福島正	鈴木節	石川勇	12 名
2001 年	加藤祐一	永野淳子	福島正	鈴木節	星住秀一	10 名
2002 年	加藤祐一	坂本哲朗	福島正	鈴木節	星住秀一	11 名
2003 年	加藤祐一	坂本哲朗	福島正	鈴木節	仲村雄地	12 名
2004 年	加藤祐一	村野絢子	福島正	鈴木節	仲村雄地	12 名
2005 年	加藤祐一	村野絢子	福島正	根本幸子	飯忍	11 名
2006 年	村野繁	村野絢子	福島正	根本幸子	飯忍	9 名
2007 年	村野繁	中田清子	福島正	根本幸子	飯忍	8 名
2008 年	福島正	中田清子	村野繁	根本幸子	飯忍	8 名
2009 年	福島正	中田清子	村野繁	根本幸子	原田寿大	8 名
2010 年	福島正	中田清子	村野繁	根本幸子	原田寿大	7 名
2011 年	村野繁	中田清子	福島正	根本幸子	江尻明子	7 名
2012 年	村野繁	中田清子	福島正	根本幸子	江尻明子	7 名
2013 年	村野繁	中田清子	福島正	根本幸子	江尻明子	7 名
2014 年	村野繁	中田清子	福島正	根本幸子	山梨雄一	7 名
2015 年	村野繁	村野絢子	福島正	根本幸子	山梨雄一	6 名
2016 年	村野繁	村野絢子	福島正	根本幸子	山梨雄一	5 名

完